

健康をつくらう!



JA茨城県厚生連
県北医療センター
高萩協同病院
病院長
こんどう たくし
近藤 匡 先生

昨年4月に病院長に赴任してようやく1年が経過しました。安全な周産期医療と高齢者医療の充実を目標に努めてきました。医師不足は顕著であり常勤だけではならず県内外から多くの医師に応援して頂き成り立っており今後も医療スタッフの確保に努めてまいります。産科医療に関しては北茨城市、日立市とともに日立医療圏の充実に努力しており平成30年度の分娩数は約489件と医療圏の過半数を受持っている状況です。今後、日立総合病院に母子周産期センターが再開される見込みであるため、連携をして周産期医療の安全向上に努めてまいります。救急車の受け入れ数については、過去3年間の平均で約810件でしたが平成30年度は1,000件を超えており地域では人口が減っていく一方で高齢化が進み自宅や施設からの救急要請が増えている状況です。また、高萩市消防からは764件の要請があり当院での対応は616件で応需率は80%を超える件数で過去3年間の平均を大きく上回る結果となりました。これは連携している水戸協同病院から3ヶ月ごとに2名ずつ総合診療科医師の派遣をうけており毎日、初診を担当していることが反映されていると考えております。今後も地域医療と周産期医療の向上に努め信頼していただける病院になるよう努力してまいります。

市役所の仕事



生涯学習課
こぼり たいしん
小堀 泰進

生涯学習課には、市庁舎の2階にある生涯学習グループと、中央公民館、図書館、文化会館等で構成される社会教育施設グループがあります。生涯学習の推進、文化財の保護、芸術文化の振興、青少年の健全育成、公民館講座、文化会館

自主事業など幅広い業務を行っており、市民のみなさんが充実した生活を送ることができるように生涯を通じた学習の場を提供する部署です。

私は主に青少年の育成を担当しており、子ども会に関する業務などを行っています。市子ども会育成連合会主催事業の小学4年生を対象としたキャンプや、友好都市である山形県新庄市との児童交流事業を毎年実施しております。昨年は、これらの事業に100人以上の子どもたちが参加し、盛大に開催することができました。

そのほかにも高萩市文化祭や公民館まつりなど、市民のみなさんに生涯学習の機会を提供する事業を行っていきますので、お気軽にお問い合わせください。みなさんの参加をお待ちしております。

生涯現役 いきいき元気

『たかが鶴 されど鶴』

「誰でも折れる鶴でも、基本がしっかりできていないと最後まで折るのが大変なんです」と笑顔で語るのは、中央公民館自主クラブで「京連鶴」の講師をしている鈴木さん。

元々は手作り雛人形のお手伝いをしてきた鈴木さんですが、NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」の中に出てくる京連鶴を見たことがきっかけで作ってみたいと思ったそうです。しかし、京連鶴を関東で教えている場所はなく、直接、本の著者「富田瑞穂先生」に連絡を取り、本をいただいで独学で勉強したそうです。

京連鶴を折るために必要な友禅和紙は入手するのも大変ですが、やぶれなくて丈夫なので1枚で60羽まで繋げて折ることがあるそうです。

そんな克江さんの元気の源は、20年近く続けている立哨で通学中の児童から元気をもらうことです。「小学校を卒業する児童から感謝のお手紙ももらい涙しました」と話す克江さんはとても優しい表情をしています。

「京連鶴は手先を使い認知症予防にもなるので、気軽に中央公民館の自主クラブに来てもらいたいです」



鈴木 克江さん
(安良川)

